

平成23年度 事業報告

I 環境保全活動促進事業

1

事業名	環境活動事例発表会
内 容	事業者、環境団体等が行っている環境保全活動の取り組み事例の発表会を開催 日 時：平成23年4月22日（金）総会後開催 場 所：福井県国際交流会館 3階特別会議室 発表者：日和 佳政 氏（水辺と生き物を守る農家と市民の会） 「コウノトリと共生する田んぼ作り」活動報告 坂本 均 氏（環境アドバイザー） 「気づき “そして” 行動へとつなげる教育の模索」

2

事業名	環境バスツアー
内 容	中部・関西のリサイクル施設や環境関連の展示館等をバスで巡る日帰りバスツアーを実施する 日 時：平成23年8月27日（土） 行き先：コウノトリの里（越前市白山地区） 越前市エコビレッジ交流センター（越前市坂口地区） 福井県総合植物園プラントピア 参加者数：73名

3

事業名	環境マネジメントシステムに関する事業
内 容	主に事業所の環境管理者等を対象に、先進事例の見学会および講演会等を実施 (1) 企業見学会の実施 内 容：省エネやエコ活動、環境経営に係る先進企業等の視察 対 象：環境マネジメントを導入、導入予定または関心のある事業所の環境管理者等 日 時：3月16日（金） 見学先：小松精錬㈱、㈱サワヤ（石川県） 参加者数：30名 (2) 講演会・研修会の開催 内 容：マテリアルフローコスト会計に関する講演会の実施 対 象：環境マネジメントを導入済みか関心のある事業所、または環境に関する取組みを実施している事業所の経営者や環境管理者等 日 時：2月22日（水） 会 場：国際交流会館 第1・第2会議室 講師：環境管理会計研究所 山田 明寿 氏 参加者数：80名 (3) 環境マネジメントに係る支援情報をメールマガジン等により提供

Ⅱ 情報誌発行事業

内 容	環境問題や環境教育に関する情報、事業者やボランティア団体等が行う環境保全活動などを紹介する情報誌を発行 部 数：3,000 部 時 期：1 回発行（平成 24 年 3 月） 配布先：会員、小・中・高等学校、図書館、公民館等
-----	--

Ⅲ 普及広報事業

内 容	ホームページ、携帯電話へのメール配信により、協議会の会員募集や各種イベント開催の情報提供を実施 (1) 随時メール配信（4 月～12 月 16 回） (2) ホームページをリニューアル（3/9 公開） 県内の環境イベント情報を中心に、「より見やすく、より使いやすく」
-----	--

Ⅳ 県・市町との連携事業

1

事 業 名	環境アドバイザー等の派遣
内 容	事業者、団体、学校、自治会等が開催する研修会等へ講師を派遣を実施 派遣状況：37 件

2

事 業 名	ふくい環境フェア 2011 開催事業
内 容	「LOVE・アース・ふくい」、「ものを大切にする社会づくり」、「自然再生ふくい」等の県民運動の普及啓発および推進のため、環境フェアを開催 日 時：平成 23 年 10 月 15 日（土） 場 所：武生パレスホテル、武生中央公園正面入口周辺他 内 容 I ステージイベント：武生パレスホテル ① 環境ふくい推進協議会会長表彰 ② クールライフプロジェクト・チャレンジ！節電大作戦表彰 ③ 3 R 推進事例発表会 ・「容器包装ごみ削減 3 R で」 発表者 NPO エコネットふくい事務局長 中野佐知子氏 ・「家庭でできるごみ減量」 発表者 鯖江市連合婦人会幹事 中村靖子氏 II 展示・体験コーナー：武生中央公園正面入口周辺 ・ 県環境基本計画に定めた 10 本のプロジェクトの紹介 ジビエ（有害鳥獣）料理試食、おもちゃの病院、古本市 ・ 省エネ・創エネライフのススメ 次世代自動車展示、電気自動車乗車体験等 来場者数：1,000 人

3

事業名	ものを大切にする社会づくり事業
内 容	壊れたものを修理して使う、いらなくなったものをほしい人に譲るなど、修理する文化、リサイクル文化の定着を目指した取組みを実施 (1) 古本市の開催 4月16日(土) 県立図書館 5月29日(日) いきいき消費者フォーラム：AOSSA 8月20日(土) さばえ環境フェア 2011：嚮陽会館 8月31日(水) 県立図書館 9月17日(土) AOSSA 10月15日(土) ふくい環境フェア 2011：センチュリープラザ 11月 5日(土) 福井駅西口広場 1月21日(土) 県立図書館 (2) 修理工房の開催 11月 5日(土) AOSSA (来場者 2,971 人) (3) おもちゃの病院の開催 8月20日(土) さばえ環境フェア 2011：嚮陽会館 (修理受付 30 件) 10月15日(土) ふくい環境フェア 2011：センチュリープラザ (修理受付 41 件) 11月 5日(土) AOSSA (修理受付 28 件) 2月25日(土)、 26日(日) つるが環境フェア：きらめきみなと館 (修理受付 26 件) (4) おもちゃの修理ボランティア養成講座の開催 10月 1日(土) [鯖江地区] エコネットさばえ (受講者 19 人) 10月29日(土) [福井地区] AOSSA (受講者 19 人) 12月17日(土) [敦賀地区] アクアトム (受講者 6 人) 3月20日(火) [若狭地区] 県こども家族館

4

事業名	子ども船乗り体験事業
内 容	子どもに海の自然環境を体感させ、環境保全意識を醸成し豊かな感性を育むため、小・中学生を対象に里海での船乗り体験を実施 時 期：5～11月 内 容：学校単位で参加校を募集し、漁船での漁業体験等を実施 乗船経費、傷害保険料の負担、バス借上料の補助 参加者：86 学級 1,858 人

5

事業名	ふくいエコ活動応援事業
内 容	「自然再生ふくい」「環境ふくい CO2 削減貢献」等の県民運動への参加団体の活動内容をホームページ等で紹介、優れた活動団体を表彰 (1) ホームページ「美しい福井の環境」により団体等の活動内容を公開 (2) 環境ふくい推進協議会会長表彰 10月15日(土) 武生パレスホテル

6

事業名	市町環境連携事業
内 容	市町および市町の推薦する民間団体が企画する事業に対し、助成を実施 実績：15 件 例：環境フェア開催、環境講演会、マイバック推進事業、環境塾事業、グリーンカーテン普及促進事業、生ごみ堆肥化モデル事業、環境美化活動、エコキャンドル、ダンボールコンポスト、エコ川柳コンクール、廃食油回収事業

7

事業名	「おいしいふくい食べきり運動」推進事業
内 容	家庭や外食時の食べ残しを減らすことについて、啓発し、ごみの減量化を実施 「おいしいふくい食べきり運動」の広報 (1) いきいき消費者フォーラム（5月29日）、あわら市消費生活・環境展（11月26日）において広報 (2) 「食べきり家庭応援店」の新設（登録84店舗 H23年12月末現在） 11月19日 食べきり家庭応援店における使い切り料理教室の開催（ハーツ羽水店） (3) 「食べきり運動協力店」の拡大（登録682店舗 H24年2月末現在） (4) 「食べきり運動協力店」「食べきり家庭応援店」のステッカー作成 (5) ポスター、ちらしによる広報 (6) 忘年会・新年会における食べ残しを減らす取組みについて広報 ・商工会議所、商工会等を通じチラシ等を配布 ・環境ふくい推進協議会のメルマガで広報 (7) 食材使いきりレシピの配布、残った料理アレンジレシピ等の募集

8

事業名	「自然再生ふくい」行動推進事業
内 容	身近な自然を守り育む県民活動を推進するため、自然再生支援隊派遣を通して自然再生手法の啓発を実施 23年度 70回 小学校、公民館、各地域団体で実施

9

事業名	里地里山保全活用推進事業
内 容	(1) 希少な野生生物が多数生息する里地里山を、地域住民が自らの手で保全再生する活動を推進するため、里地里山保全に関する啓発を実施 (2) コウノトリをはじめ多くの生物と人間の双方にとって良好な田園環境づくりに向け、冬水田んぼと水田魚道の普及拡大を図るため、コウノトリの定着を目指した支援を実施

10

事業名	環境ふくい CO2 削減貢献事業
内 容	県民・事業者から環境貢献活動に活用する資金を提供いただき、CO2削減活動に活用する「環境ふくい CO2 削減貢献事業」について、各イベント等において普及啓発事業を実施

11

事業名	次世代(省エネ)自動車導入推進
内 容	(1) 自動車からの大幅な CO2 削減を図るため、次世代自動車（電気自動車・プラグインハイブリッド車）の普及啓発事業を実施 (2) 環境フェアにて、次世代自動車ブースを設置し、EV試乗会を開催 試乗会 : 25回実施 EVまなび隊派遣 : 51回実施

12

事業名	ストップ乗りすぎ
内 容	自動車利用を減らし、公共交通機関や自転車の利用へ転換することで自動車に頼りすぎない環境負荷の少ない交通対策の普及を促進 (1) みどりの自転車（イベント&サイクル） イベント会場までの交通手段・イベント会場での移動手段として、みどりの自転車を活用した臨時の無料レンタサイクル拠点を最寄駅、臨時駐車場等に設置 イベント数： 7 回 利用者数： 477 名 ※3 月中に新規のイベント&サイクルを 2 回開催予定 (2) 自動車走行距離削減運動「CO2 削減！レッツトライ 180」の普及広報 参加チーム数：150 チーム（750 人）

13

事業名	ふくいのおいしい水プロジェクト
内 容	(1) 県内外で開催されたイベント等において、ふくいのおいしい水等の試飲・ペットボトルの配布や、パネルの展示など宣伝を実施 (2) 認定地において実施する水源地整備等の保全活動に対し、環境ふくい CO2 削減貢献事業の資金を活用し支援 活動団体の決定：8 月 4 日（募金委員会） 1 団体

14

事業名	福井型環境教育・学習推進
内 容	福井型環境教育・学習教材「エコワークブック」の学校における活用推進、環境アドバイザー等による山や海での自然体験、農業体験などの活動や学習会の実施、環境フェアにおける写真展の開催 (1) 県教頭会、各小中学校への働きかけにより、教材活用依頼 使用状況 小学校：193 校 中学校：84 校 合 計：277 校 使用率：89.4% (2) 環境フェア等のイベントにおける「子ども船乗り体験」や「残したいふくいの自然」のパネル展示

15

事業名	きれいなまちづくり事業
内 容	(1) 観光地や駅周辺等に花木を植栽する団体等を支援し、地域の活性化と環境美化活動の定着したきれいなまちづくりを実施 (2) 「ふくい環境フェア」等でクイズラリー参加者に花苗を配布

16

事業名	ふるさとに感謝「私の環境記念日」
内 容	新入学、卒業、結婚など人生の節目において、ふるさとの自然や環境を良くする行動を実践するよう普及啓発活動を実施 (1) 環境フェアでの苗木配布やメルマガ等における事業 PR (2) 「美しい福井の環境」ホームページにおいて実例の紹介

V 特別会計

1

事業名	特別積立金
内 容	記念事業に向けて積立て

2 ふくい環境貢献活動支援事業

(1)

事業名	環境ふくい CO2 削減貢献事業
内 容	県民・事業者から資金を提供いただき、CO2 削減等の活動を行う団体等に助成 助成団体数：5 団体

平成23年度環境ふくいCO2削減貢献事業 オフセット先一覧

N o .	市町	申請団体	代表者	活動名称	活動概要	認定額	CO2 吸収量・削減量（試算）
1	大野市	里山銀杏峰を愛する会	代表 岡田 政治	命の水を育む銀杏峰を癒しの森に	銀杏峰山頂付近・中腹ブナ林で雑木の刈り払い（3ha）や登山道の整備（300m）を実施する。憩いの森キャンプ場で、公募による小学生と間伐材を使った小鳥の巣箱作りを行う。	175千円	615,000 kg-CO2
2	越前市	ハツ杉千年の森づくり実行委員会	代表 関 孝治	千年未来を見据えた地球温暖化防止の森づくり活動	東京都港区の小学生と福井県内の小学生が共同で自然体験活動としてケヤキやクスギを植樹（1ha）する。	850千円	205,000 kg-CO2
3	あわら市	中番環境を守る会	会長 徳丸 俊夫	中番区の森の再生	クスギ、ナラの植樹および間伐（3,000㎡）を行い、地域住民や子供の集う場となっている森の整備に住民およびその子供たちで取り組む。また、補助対象外ではあるが、カブト虫産卵場を作成する。	969千円	61,500 kg-CO2
4	坂井市	NPO法人三国湊魅力づくりPJ	理事長 西澤 弘之	緑のリレープロジェクト	子供の環境教育や体験学習を実施する森の間伐や枝打ち（1355㎡）を公募により行い、間伐材を使った遊具作りなどを行う。	500千円	27,700 kg-CO2
5	鯖江市	越の郷地球環境会議	理事長 武井 幸久	どんぐりからの森づくり	鯖江市の全小学6年生が、平成21年度から育てた広葉樹の苗木（1,000本）を含む3,000本の広葉樹を植樹（900㎡）し、どんぐりからの森づくりを行う。	500千円	18,450 kg-CO2
6	越前市	治左川とトミヨを守る会	会長 石本 義勝	治左川井戸の水源池整備	水の安全性、利用者の利便性を高め、治左川井戸の利用者を更に増やすため、東屋を設置し、水汲み場までの歩道を整備する。	1,000千円	-
計						3,994千円	927,650 kg-CO2

1	CO2 吸収減対策・CO2 削減活動	2,994千円
2	「ふくいのおいしい水」水源池整備	1,000千円
	合計	3,994千円

(2)

事業名	ふくい生物多様性保全支援事業
内 容	県民・事業者から資金を提供いただき、地域の豊かな自然環境の保全・再生活動を行う団体等に助成 助成団体数：8 団体

平成23年度 ふくい生物多様性保全支援事業 認定団体一覧

No.	市町	申請団体 (会員数)	代表者	活動地域	活動内容	認定額	確定額
1	福井市	清水南地区自治会連合会 (6名)	会長 三上 政晴	福井市真栗町	外来種(セイタカアワダチソウ、ブルギル、ブラックハス等)の駆除を清水南地区(11 集落)および5箇所のため池で実施	170千円	170千円
2	福井市	めだかの学校塾(8名)	塾長 田中 幸長	丹生郡越前町東二ツ屋	ビオトープを補修(あぜ板100m)し、メダカの生息環境を保全	498千円	498千円
3	勝山市	小原ECOプロジェクト (6名)	代表 國吉 一實	勝山市北谷町小原	草刈り・下草整理(3箇所)を行い、希少種(ナツヅクシ)を保全	250千円	250千円
4	坂井市	ほとるの学校(11名)	代表 松浦 裕幸	坂井市春江町石塚	排水路に中州等(玉石4t、間伐材100本)を設置し、ホタルの生息場所を整備	250千円	182千円
5	越前市	水辺と生き物を守る農家と市民の会(81名)	会長 堀江 照夫	越前市白山・坂口地区	水田魚道 2箇所 湛水休耕田 4箇所	300千円	300千円
6	福井市	清水東地区自治会連合会 (10名)	会長 尾崎 道範	福井市清水杉谷町	放置田畑をビオトープ(550㎡)にし、保全活動を実施	500千円	500千円
7	若狭町	鳥羽を考える会(34名)	会長 藤内 良満	若狭町小原	休耕田を活用し、コウノトリの餌場整備(948㎡)	265千円	265千円
8	鯖江市	櫻十六会(25名)	会長 山崎 利之	鯖江市石生谷	コハクチョウ、コウノトリの餌場整備(500㎡)	150千円	150千円
計						2,383千円	2,315千円

事業名	エコポイント事業特別会計
内 容	(1)環境フェアにおける講演 「コウノトリとの共生と私たちの暮らし」 兵庫県コウノトリ野生復帰連絡協議会 会長 保田 茂 氏 (2)環境ふくい推進協議会ホームページの更新 ホームページをリニューアル（3月更新） 県内の環境イベント情報を中心に「より見やすく、より使いやすく」

V 会議等

下記のとおり会議を開催した。

1 総会

開催日 平成23年4月22日（金）
場 所 福井県国際交流会館 3階 特別会議室
内 容 ①総会 平成22年度事業報告および収支決算報告について
平成23年度事業計画（案）および収支予算（案）について
②環境活動事例発表会
発表者：日と佳政氏（水辺と生き物を守る農家と市民の会）
坂本 均氏（環境アドバイザー）

2 役員会

開催日 平成23年4月22日（金）
場 所 福井県国際交流会館 2階 第1会議室
内 容 総会提出議案について

3 企画委員会

第1回 開催日 平成23年6月17日（金）
場 所 AOSSA 7階 706・707
内 容 平成23年度事業の進め方および進捗について
環境バスツアーについて 他
第2回 開催日 平成23年10月6日（水）
場 所 AOSSA 7階 706・707
内 容 平成23年度事業の進め方および進捗について
環境フェアについて
募金委員会報告 他
第3回 開催日 平成24年1月20日（金）
場 所 AOSSA 7階 706・707
内 容 平成23年度事業進捗について 他
第4回 開催日 平成24年3月27日（火）
場 所 AOSSA 7階 706・707
内 容 平成23年度事業報告および平成23年度収支決算見込みについて
平成24年度事業計画および平成24年度収支予算案について
環境活動事例発表会について 他

4 募金委員会

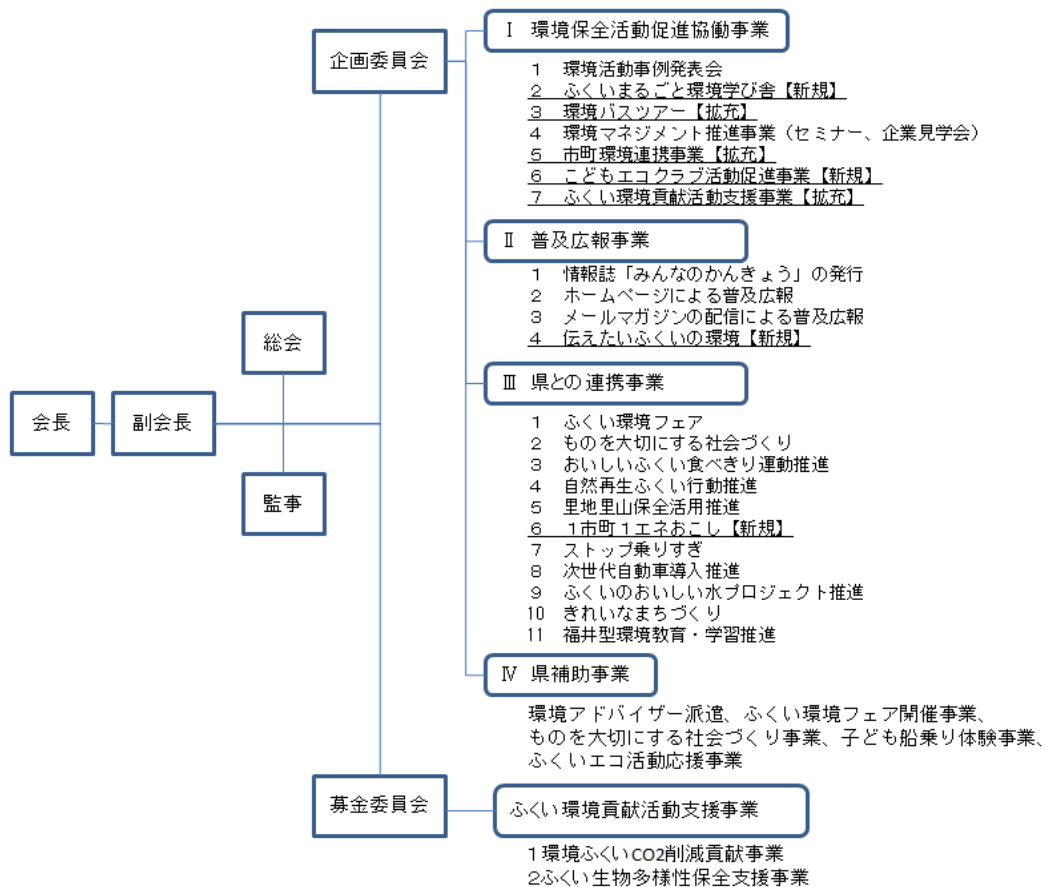
開催日 平成23年8月4日（木）
場 所 電気ビル3階 302
内 容 特別会計に係る資金状況について
平成23年度ふくい環境貢献活動支援事業の認定について

平成24年度 事業計画

平成 24 年度事業体系改編のポイント

- (1) 普及広報事業を除く協議会の自主事業を「環境保全活動促進協働事業」として、一元化
- (2) 情報誌発行事業を普及広報事業に統合
- (3) 「県・市町との連携事業」を、県事業の側面支援である「県との連携事業」と、県の補助を受けて実施する「県補助事業」に整理

環境ふくい推進協議会事業体系図



I 環境保全活動促進協働事業

1 環境活動発表会

- 〔内容〕 環境活動実践者の発表会を開催する。
- 〔開催時期〕 平成 24 年 4 月 26 日（木）
- 〔場所〕 福井県国際交流会館 特別会議室

2 ふくいまるごと環境学び舎【新規】

〔内容〕 企業、団体、個人等との協働による講演、セミナーや体験活動を開催する。

〔開催時期〕 通年

ふくいまるごと環境学び舎

1 理念

県内のあらゆる場所において、県民が協働して環境について学び・体験することで、豊かな人間性を持った人材を育てることにより、持続発展可能な社会を形成することを理念とする。

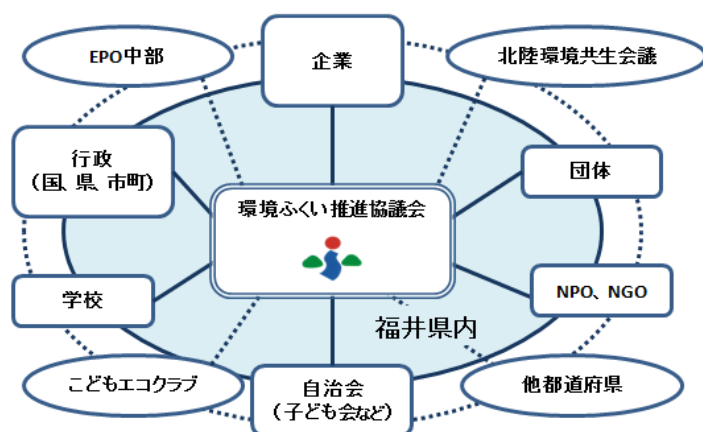
2 方針

- 1 県内のあらゆる場所において、環境保全に関する教育を実施。
- 2 行政、企業、団体、個人が協働して、学習会や自然体験活動を実施。
- 3 環境に関する活動の情報提供や情報発信。

3 具体的な内容

- 1 県内において実施されている環境保全活動を発掘、新たな環境保全活動を実施。
- 2 環境保全活動施設、場所の確保
- 3 協議会との共催、連携の他、ステークホルダー同士のつながりを進めることにより、さらに質が高く、効果の高い環境保全活動の実施。
- 4 環境ふくい推進協議会での、環境保全活動の情報提供や情報発信、活動報告。

ステークホルダーのネットワーク化と事業のコラボレーション



主催事業	共催事業	連携事業
自ら行う事業 ■環境活動事例発表会 ■環境バスツアー ■企業見学会 ■環境マネジメントセミナーなど	経費の一部を補助する事業 ■店舗における学習会 ■企業施設を用いた体験活動 ■出前授業 ■団体の学習会 ■環境貢献活動 ■自然体験活動など	行政、企業、団体、NPO、学校、個人が行う事業 ■大学オープンカレッジ（環境分野） ■ライフアカデミーによる環境講座 ■放送大学（環境分野） ■出前講座 ■団体の学習会 ■自然体験活動 ■学習施設提供 ■所有地提供など

3 環境バスツアー【拡充】

〔内容〕 年1回実施だった日帰りバスツアーを、地球環境、循環社会形成、生物多様性などに分類し、3回実施する。

〔開催時期〕 7月～11月

4 環境マネジメント推進事業

〔内容〕 主に事業所の環境管理者等を対象に、先進事例の見学会や基調講演および実践事例発表を実施する。

〔開催時期〕 10月～2月

5 市町環境連携事業【拡充】

〔内容〕 市町および市町の推薦する民間団体が企画する事業に対しその一部を助成することにより、県内一円の環境保全活動の活性化を図る。

助成要件

- 環境保全に貢献する事業または県民の環境意識向上に寄与する事業
- 事業費が5万円超
- 各市町1件の枠

助成額

- 福井市：10万円／件、その他の市町：5万円

6 こどもエコクラブ活動促進事業【新規】

[内容] こどもエコクラブへの登録を呼びかけるとともに、活動しているクラブへの支援を行い活動の活性化を図る。

助成額 壁新聞作成に係る経費の支援 1万円／クラブ 10クラブ

7 ふくい環境貢献活動支援事業【拡充】

[内容] 福井型CO2削減貢献事業やふくい生物多様性保全支援事業、ふくいおひさまクラブの活性化を図る。

II 普及広報事業

1 情報誌発行业

[内容] 環境問題や環境教育に関する情報、事業者やボランティア団体等が行う環境保全活動などを紹介する情報誌を発行する。

発行回数 1回

発行部数 3,000部

配布先 協議会会員、小・中・高等学校、図書館、公民館等

2 ホームページによる普及広報

[内容] 新しくなったホームページを活用し、お知らせやイベント情報を充実する。

3 メールマガジンの配信による普及広報

[内容] メールマガジンにより、さまざまな環境保全活動情報の提供を行う。

4 伝えたいふくいの環境【新規】

[内容] 美しい福井の自然や心に残った環境保全活動等の写真をホームページに投稿し、福井の環境保全を促進するよう普及啓発を行う。

Ⅲ 県との連携事業

以下の県事業（県補助による協議会事業を含む）をより効果的なものとするため、当協議会としても県の取組みを支援するための事業を実施する。

1 ふくい環境フェア

〔内容〕 地球温暖化の防止、循環型社会の形成、自然環境の保全を促すため、「ふくい環境フェア」を開催する。

2 ものを大切にする社会づくり

〔内容〕 循環社会形成のために、資源の回収などを行う。

3 「おいしいふくい食べきり運動」推進

〔内容〕 家庭や外食時の食べ残しを減らし、ごみの減量化に取り組む。

4 「自然再生ふくい」行動推進

〔内容〕 身近な生物を、近くの小川、田んぼや家のまわりなどで再び見ることができるよう、身近な自然を守り育む運動実践のための活動を行う。

5 里地里山保全活用推進

〔内容〕 多くの生き物が生息する豊かな里地里山の保全計画作成支援、里地里山の保全再生活動を行う。

6 「1市町1エネおこし」【新規】

〔内容〕 県内各地域の特色を活かした再生可能エネルギー事業の展開を図り、全ての市町に一つ以上の再生可能エネルギーが導入されるよう取組みを行う。

7 ストップ乗りすぎ

〔内容〕 みどりの自転車の活用など、車への過度の依存を避けるようホームページ等を活用した取組みを行う。

8 次世代（省エネ）自動車導入推進

〔内容〕 自動車からの大幅なCO₂削減を図るため、次世代自動車（電気自動車・プラグインハイブリッド車）の試乗会や学習会を行う。

9 ふくいのおいしい水プロジェクト推進

〔内容〕 水道に占める地下水の割合が全国平均に比べ突出して高い本県の豊かな水資源の保全活動を進め、有効活用を図るよう支援を行う。

10 きれいなまちづくり

〔内容〕 地域の清掃や花の植栽等による環境美化活動について、普及広報を行う。

11 福井型環境教育・学習推進

〔内容〕 里地里山里海での自然体験や農業体験などを写真で展示、環境教育・学習教材「エコワークブック」の活用を推進するなどして、環境教育を振興する。

IV 県補助事業

1 環境アドバイザー等の派遣事業

[内容] 事業者、団体、学校、自治会等が開催する研修会へ講師（環境アドバイザー）を派遣する。

2 ふくい環境フェア 2012 開催事業

[内容] 「L O V Eアースふくい」、「ものを大切にする社会づくり」、「自然再生ふくい」等の県民運動の普及啓発および推進するため、環境フェアを開催する。

[開催時期] 平成 24 年秋

[場所] 未定

3 ものを大切にする社会づくり事業

[内容] 壊れたものを修理して使う、いらなくなったものをほしい人に譲るなど、修理する文化、リサイクル文化の定着を目指した取り組みを実施する。

- (1) 修理工房やフリーマーケット（古本市）、おもちゃの修理ボランティア養成講座 などの開催
- (2) 修理店やフリーマーケットの開催情報をホームページ等で提供等

4 子ども船乗り体験事業

[内容] 子どもに海の自然環境を体感させ、環境保全意識を醸成し豊かな感性を育むため、小・中学生を対象に里海での船乗り体験を実施する。

- (1) 学校単位で参加校を募集し、漁船での漁業体験等を実施
- (2) 乗船料、バス借上料等を助成

[開催時期] 5～11 月

5 ふくいエコ活動応援事業

[内容] 環境保全活動のより一層の推進を図るため、地道に環境保全活動に努められた活動団体について表彰を行う。

V 会議等

下記のとおり会議を開催する。

1 総会

開催時期 平成 24 年 4 月 26 日（木）
場 所 福井県国際交流会館 特別会議室
内 容 総 会：平成 23 年度事業報告および収支決算報告について
平成 24 年度事業計画（案）および収支予算（案）について
役員改選について
環境活動事例発表会

2 役員会

開催時期 平成 24 年 4 月 26 日（木）
場 所 福井県国際交流会館 第 2 応接室
内 容 総会提出議案について

3 企画委員会（4 回程度開催予定）

4 募金委員会（2 回程度開催予定）

VI 特別会計

1 特別積立金

〔内容〕 記念事業実施のため、積立により財源を確保する。

2 ふくい環境貢献活動支援事業

(1) 環境ふくい CO2 削減貢献事業

〔内容〕 県民・事業者から提供された資金と県の補助により、CO2 削減活動や水環境の保全活動などを実践する団体へ助成する。

(2) ふくい生物多様性保全支援事業

〔内容〕 県民・事業者から提供された資金と県の補助により、生物多様性保全活動を実践する団体へ助成する。

3 エコポイント事業特別会計

〔内容〕 国が実施するグリーン家電普及促進事業（家電エコポイント）、携帯電話回収促進実証事業（たんすケータイあつめタイ）および環境対応住宅普及促進事業（住宅版エコポイント）による当協議会への環境寄付を活用し、普及啓発に関する事業を実施する。

4 ふくいおひさまクラブ特別会計【新規】

〔内容〕 住宅用太陽光発電設置により削減される CO2 量を集約し、国内クレジット制度を利用しクレジット化し、クレジット売却益は CO2 削減活動に活用する。